

2018年6月21日  
マレーシア日本人商工会議所（JACTIM）  
／JETRO クアラルンプール事務所

## 2018年度 在マレーシア日系企業アンケート調査

マレーシア日本人商工会議所（JACTIM）／JETRO クアラルンプール事務所は2018年1月24日から3月31日まで、在マレーシア日系企業が抱えている事業活動上の問題点等を把握するためにアンケート調査を実施しました。その結果を以下の通り発表します。

調査方法・実施時期：アンケート調査、2018年1月24日～3月31日

調査対象企業：マレーシア日本人商工会議所（JACTIM）の法人企業554社  
（アンケート有効回答数：184社〔回答率：33.0%〕）

1. 在マレーシア日系企業がマレーシアの投資先として最も魅力的な点は「労働者・国民の英語力」（73.4%）。本項目は例年比率が高く、企業は長きにわたって、国民の英語力を高く評価している。以下「親日的」（55.4%）、「少ない自然災害」（52.7%）と続いた。「安全・治安」「インフラ」「生活環境」も高評価だった。
2. インフラストラクチャーは、大量高速交通システム（MRT）が一部開通したものの、交通ネットワークが充実していないことを受けて、「公共交通機関」（63.6%）に対する改善期待が最も高かった。次いで、「道路」（40.2%）、「公衆衛生」（39.1%）が続いた。一部地域でインターネット通信状況が良くないことから「通信・インターネット」（37.5%）への改善余地も高い。大型インフラでは「空港」（19.0%）の改善への期待が高まった。
3. 在マレーシア日系企業がマレーシアの労働政策・雇用環境に関して抱える課題は「賃金の上昇」（69.0%）が最大。2018年7月にも最低賃金の見直しが行われるとされており、さらなる人件費の上昇が見込まれる。以下、「従業員の定着率」（54.6%）、「品質管理の難しさ」（44.0%）が続いた。
4. 外国人労働者（FW）政策に対しては、「外国人労働者申請手続きの簡素化、効率化」（49.5%）を求める企業の比率が最も高かった。製造業においては、FWが全従業員数に占める割合は15.0%（中央値）。
5. 製造業のうち36.5%が外国人労働者の雇用に困難があると回答した。外国人労働者の雇用難に対する対策として、「機械化・自動化」を挙げた企業のうち、39.3%が機械化・自動化にあたって困難に直面していると回答。製造業では、半数を超える51.9%が困難と回答した。機械化・自動化が困難な要因としては、「技術的ノウハウ・人材不足」（57.4%）を挙げる割合が最も高かった。

【記者発表用説明資料】

6. 貿易・投資上の課題に関して、「為替管理」を挙げた企業の比率が 38.6%と最も高かった。前回調査からは 16.4 ポイント減少したが、依然 2016 年 12 月の中央銀行による為替管理規則の変更が影響しているとみられる。次いで、「労務」（34.2%）、サービス業を中心に規制が残る「外資規制」（32.1%）が続いた。
7. Industry4.0 の関連技術について、導入または検討状況を聞いたところ、「導入済み」（2.9%）、「導入予定」（8.0%）、「検討中」（18.9%）、「検討予定」（19.4%）でと答えた企業が合計で 4 割を超えた。「IoT（モノのインターネット化）」への関心が 36.4%と最も高かった。
8. 今後のマレーシア事業方針について、回答企業の 36.8%が「拡大」と回答した。前回調査から 5.5 ポイント上昇した。「拡大」理由には安定的な経済成長、市場拡大が見込めるとの声が多かった。他方、「現状維持」「縮小」と回答した企業はそれぞれ 61.5%、1.6%とそれぞれ前年調査から減少した。「現状維持」「縮小」理由としては、「労務費の増大による競争力の低下」などが指摘された。

お問い合わせ

■ JACTIM 事務局（担当：斎藤、シェヴィン）

Tel: 03-2142-7106 Fax: 03-2142-0483

■ JETRO クアラルンプール事務所（担当：田中）

Tel: 03-2171-6100 Fax: 03-2171-6077